

② 令和7年度蔵タク国庫補助金における事業評価について

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名: 栃木市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千代田タクシー有限会社 栃木合同タクシー株式会社 有限会社大平タクシー 藤岡タクシー株式会社 有限会社都賀タクシー 株式会社新交通 岩舟タクシー株式会社 安全タクシー有限会社	デマンド交通「蔵タク」 営業区域: 北部エリア・南部エリア 運行日: 月曜～金曜(祝日・12/29～1/3を除く) 運行時間帯: 8時～16時 運賃: 400円	・データの活用により移動需要を把握し効率的な運行に繋げていくべきとの評価については、デマンド交通の乗継運賃について、乗車データや聴き取り調査の結果から見直しに着手した。また、大学との連携による乗車データの分析に着手した。 ・生活様式に合わせ住民にとって分かりやすい周知を行うべきとの評価については、運転免許証を返納した市民に対し、警察と連携して市の運転免許証自主返納支援制度の周知を行い、申請によりデマンド交通とコミュニティバスの共通乗車券を交付し、移動の足の確保とデマンド交通の利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。 収支率 目標: 12.2% 実績: 11.1% 利用者数 目標: 255人/日 実績: 162人/日	・乗車データの活用により、利便性と効率性の高いデマンド交通について検討を進め、策定作業中である第2次地域公共交通計画に位置づけていく。 ・引き続き運転免許証自主返納支援制度により、デマンド交通の主な利用者である高齢者の利用を促す。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

(協議会による一次評価の際は記入不要)

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月 日

協議会名:	栃木市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>栃木市地域公共交通計画の基本的な方針:</p> <ul style="list-style-type: none">・市民目線に立った利便性の高い公共交通の充実・将来にわたり持続可能な公共交通網の構築・コンパクトシティのまちづくり、経済の活性化、観光の振興、環境負荷の軽減など、魅力あるまちづくりを視野に入れた公共交通の充実 <p>上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性:</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢社会の進行による移動困難者の増加に伴い、通院・買い物等の市民の日常生活の足の確保や、社会参加の機会を提供する。・コミュニティバスでは補いきれない地域をデマンド交通で埋めることにより、公共交通空白地域を解消するとともに地域の特性や市民のニーズに適合した地域公共交通ネットワークを構築する。